



市議会だより

みやま^んギカイ

No.73 令和7(2025)年5月1日発行 令和7年3月定例会の内容などをお伝えします。



山莊かふえcache cache(カシュカシュ)

まつなが あやこ
松永 綾子さん

CONTENTS

- | | |
|--------|-------------|
| P2～5 | 3月定例会の概要等 |
| P6～7 | 予算審査特別委員会報告 |
| P8～12 | 一般質問 |
| P13～16 | 委員会の報告など |
| P17 | 表紙のひとなど |
| P18 | 聞かせて!あなたの夢 |

こんなことが決まりました

—— 定例第1回市議会で決まったことから主なものをとりあげます。 ——

一般会計

3億294万7千円を追加し
総額 227億4861万4千円

特別会計

国民健康保険事業
2265万3千円を追加し
総額 52億9089万2千円

後期高齢者医療
1200万円を追加し
総額 8億944万1千円

介護保険事業
1億200万円を追加し
総額 51億4003万8千円

令和6年度 補正予算

令和7年度一般会計予算に対しては、修正動議が提出されましたが、賛成少数で否決。原案を賛成多数で可決しました。また、附帯決議を可決しました。（※関連記事4ページ）

定例第1回市議会

会期 2月27日～3月18日（20日間）

詳しくはこちら↓



一般会計補正予算 歳出の主なもの

保育所運営委託料・施設型給付費

1億8464万6千円

公定価格の改定増に伴い、保育所運営委託料及び施設型給付費を追加するものです。

図書館大規模改修工事費 4千万円

LED交換工事や下水道接続工事など図書館本館の大規模改修工事を追加補正するものです。

小学校大規模改修工事費 1500万円

南小学校の北側外壁工事を追加補正するものです。

物価高騰におけるみやま市支援策

1148万4千円

社会福祉施設等物価高騰対策事業

450万6千円

物価高騰の影響を受けている市所管の介護・福祉サービス事業所に
対し、光熱費、食材料費等の上昇分相当額を支援するものです。

○保育所等物価高騰対策事業

697万8千円

物価高騰の影響を受けている保育所等に対し、光熱費の上昇分相当額を支援するものです。



みやま市
マスコットキャラクター
くっぴー

条例制定・改正の主なもの

みやま市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定

瀬高中学校と東山中学校の統合に伴い、学校名をみやま市立みやま中学校とし、所在地をみやま市瀬高町下庄1885番地とするものです。

みやま市宿泊施設の誘致に関する条例の一部を改正する条例の制定

宿泊施設の設置事業者に対する奨励措置の拡充等を行い、指定区域内における宿泊施設の誘致を促進するため、固定資産税の課税免除及び軽減措置等について定めるものです。

工事請負契約の変更契約の締結

みやま柳川インターチェンジ北側産業団地造成工事（一工区・二工区）の工事請負契約について、購入土を増量する必要等が生じたため、合計3706万4500円を増額する変更契約を締結するものです。

一工区

〈工事箇所〉 みやま市瀬高町本吉外 地内
〈増減額〉 1864万1700円

〈工事請負人〉

瀬口・久富・ユウキ特定建設工事共同企業体

二工区

〈工事箇所〉 みやま市瀬高町本吉外 地内
〈増減額〉 1842万2800円

〈工事請負人〉

今村・大洋・原口特定建設工事共同企業体

反対討論 前原 武美 議員

事前調査不足等による変更理由が適正ではない。総合市民センター建設工事調査特別委員会からの提言も反映されておらず、今後の公共事業への展開が不安視されるため、警鐘を鳴らす意味で反対する。

各議員 賛否表

議員番号	議員名	工事請負契約の変更契約の締結
16	牛嶋 利三	－
15	宮本 五市	○
14	中島 一博	○
13	中尾 眞智子	○
12	瀬口 健	○
11	荒巻 隆伸	○
10	上津原 博	○
9	前原 武美	●
8	古賀 義教	○
7	吉原 政宏	○
6	奥園 由美子	○
5	森 弘子	○
4	河野 一仁	○
3	黒田 清隆	○
2	三小田 智裕	○
1	諸富 正也	○

○：賛成 ●：反対 －：議長（採決には加わりません）

令和7年度みやま市一般会計予算に対する修正動議

18日の本会議において、令和7年度みやま市一般会計予算案に対し、中島議員より、歳出予算の一部を減額し、塵芥処理費（ごみ処理費）を令和6年度の額と同等になるよう求める修正の動議が提出されました。修正動議については、賛成少数で否決し、原案を賛成多数で可決しました。

また、令和7年度みやま市一般会計予算の可決を受け、予算審査特別委員会より提出された附帯決議について可決しました。

原案に対する賛成討論 上津原 博 議員

各分科会で慎重に審議された結果、予算審査特別委員会において賛成多数で可決すべきとされたという経緯があるため、原案に賛成する。

修正案に対する賛成討論 古賀 義教 議員

前年度に比べ、一部の業者は2倍近い大幅な増額にもかかわらず、説明された積算資料も回収され、市民に説明できない。一方、この物価高騰の折、社員が多い業者の値上げはなく、今回の予算の意図や過去の積算根拠も不明だ。過去の契約の検証も含め、時間をかけた契約額の正と議員全員による再度の審議が必要。

修正案に対する賛成討論 瀬口 健 議員

ごみやリサイクル品の運搬等に5億円の予算が計上された。なぜ5億円になるのか資料により説明されたが、不明な点が多く資料もマル秘として回収された。不可解な行動だ。ずさんな予算計上を指摘する。

各議員 賛否表

16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	議員番号
牛嶋 利三	宮本 五市	中島 一博	中尾 眞智子	瀬口 健	荒巻 隆伸	上津原 博	前原 武美	古賀 義教	吉原 政宏	奥園 由美子	森 弘子	河野 一仁	黒田 清隆	三小田 智裕	諸富 正也	議員名
○	○	●	○	●	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	令和7年度 みやま市 一般会計予算

○：原案に賛成 ●：修正案に賛成 —：議長（採決には加わりません）

令和7年度 みやま市一般会計予算に対する附帯決議

近年、燃料価格の上昇や最低賃金の引上げに伴う物価高騰が続いており、令和7年度予算では、請負費や委託費の上昇が見受けられ、予算審査分科会において、その内容を丁寧に審査したところである。

特に市民生活に欠かせない塵芥処理費は、合併前に事務を行っていた一部事務組合の業務を引き継ぎ、委託業者の決定にあたっては随意契約により行われている。

本市の財政状況が厳しい中、最小の経費で最大の効果を得るためには、これまでの塵芥処理費に対する予算執行状況を検証し、市民への理解が得られるよう精査した上で、委託契約を締結する必要がある。

よって、今後の塵芥処理費予算について、以下を念頭に進められるよう要望する。

1. 予算の積算にあたっては、明確な根拠を基に計上すること
2. 塵芥処理業務の委託については、一般競争入札を含めた契約のあり方について検討を進めること

議会用語あれこれ その⑦

修正動議とは

原案に対し、議員が修正の提議を行うことで、案を備えて、文書により議長に提出しなければなりません。

修正動議には次の2つの種類があり、それぞれ提出に必要な人数が決められています。

- ① 団体意思の決定に係る議案（条例、予算等）：議員定数の12分の1以上
- ② 機関意思の決定に係る議案（意見書の議決等）：2人以上

附帯決議とは

議案を議決するにあたり、議会の希望意見として付すものをいいます。表決に条件をつけることができず、単なる議会の希望として、市長へ尊重する政治的、道義的な責務を負わせるにとどまり、法的な拘束力を有するものではありません。

人事

教育長



ふじおか いくよ
藤岡 育代 さん
(瀬高町)

教育委員会委員



まつお きよし
松尾 清 さん
(山川町)

公平委員会委員



こが ふみこ
古賀 富美子 さん
(高田町)

固定資産評価審査委員会委員



くわの せつこ
桑野 セツ子 さん
(瀬高町)



さかなし かずひろ
坂梨 一広 さん
(高田町)



とくなが てるとし
徳永 照利 さん
(山川町)

人権擁護委員候補者

ふじよし しげこ
藤吉 滋子 さん
(山川町)

だん ともこ
壇 朝子 さん
(瀬高町)

いわま たつお
岩間 龍男 さん
(高田町)

かわの たかし
河野 隆 さん
(瀬高町)

※すべての議案名と審議結果は、市ホームページをご覧ください。



政治倫理審査会からの調査報告

みやま市政治倫理条例第12条（市民の調査請求権）第1項の規定に基づき、黒田議員が政治倫理審査基準に違反する行為をした疑いがあるとして、市民から調査請求書が提出された件について、同条第3項に基づき、みやま市政治倫理審査会より令和7年3月14日付けで調査報告書が提出されました。

【調査請求書の要旨】

○議員は、義兄の多大な貢献もあり当選するも、義兄は政治倫理上、対象議員の2親等以内の親族に該当し、市からの公共工事を受注することができなくなり、結果として、配偶者（対象議員の姉）と離婚することになった。

○議員は、政治倫理条例があることを、調べもせず、義兄に説明することもなく、当選後に確認したところ「知らなかった。知っていれば立候補しなかった。法人にすればできるでしょ。法人になってマイナスになるのなら補填する」と発言。

○また、議員の配偶者や子は、久留米市に居住したままで、生活の実態は久留米市にある。みやま市で立候補するがための、実体のない住民票の異動である。

以上のような対象者の行為は、議員として市民全体の代表者としての品位や名誉を損なうものであり、政治倫理基準に反するものである。

【審査会の調査請求事項に対する判断】

みやま市政治倫理条例は、市長等並びに市議会議員の倫理について規定したものであり、調査対象としては、議員に就任された後の言動についてのみとしている。

以下、本件調査請求に対する判断について報告する。

①「法人にすればできるでしょ」等の発言については、実際に法人化や代表者の変更が行われた事実は確認できず、政治倫理

を損なうような行為とまでは言えないが、2親等以内の親族の受注を禁止する規定を回避するためにそういった提案を行うことは、条例の制定趣旨を軽視する言動であり、対象議員の認識の甘さを指摘せざるを得ない。

次に、「法人になってマイナスになるのなら補填する」という点については、事実として金銭の譲渡は認められない以上、政治倫理を損なうような行為とまでは言えない。

②「実体のない住民票の異動である」という点については、審査会の調査権限において実施した調査及び対象議員の聴取での発言からは、実体のない住民票の異動とまでは言えない。

一方で、対象議員の発言及び親族に対する行動には、市民の厳粛な信託を受けた市議会議員が遵守すべき倫理にいささか認識の甘さが見受けられる。

【審査会の結論】

対象議員の行った行為はみやま市政治倫理条例第3条第1項第1号に違反するとは言えないが、以下のように付記する。

対象議員においては、政治倫理条例の趣旨を再度確認し、市民全体の奉仕者の立場を再認識し、職務に関し不正の疑惑を持たれるおそれのある行為を厳に慎むよう心掛けるべきである。

●参考 みやま市政治倫理条例（抜粋）

第3条 市長等及び議員は、次に掲げる政治倫理基準を遵守しなければならない。

（1）市民全体の代表者として品位と名誉を損なうような一切の行為を慎み、その職務に関して不正の疑惑を持たれるおそれのある行為をしないこと。

令和7年度 一般会計当初予算 220億7100万円を可決

予算審査
特別委員会

未来へとつなぐ、
安全、安心で持続可能なまちづくりを！

当初予算の審査

令和7年度当初予算審査にあたり、みやま市一般会計予算、4件の特別会計予算、水道事業会計予算、下水道事業会計予算の全7議案が予算審査特別委員会に付託されました。

議員全員で構成する全体の委員会と各常任委員会で構成する分科会を設置し、執行部の出席を求め、慎重に審査を行いました。

審査の日程は、全体会議が2月28日、3月6日・17日の3日間、分科会は3月11日・12日・13日・14日の4日間です。

全体会議では、みやま市の全会計予算についての審査を行い、分科会では、各常任委員会の所管に属する予算について審査を行いました。

令和7年度各会計予算

会計名		総額	前年比増減率
一般会計		220億7100万円	4.9%増
特別会計	国民健康保険事業	53億1881万円	0.9%増
	後期高齢者医療	8億4810万円	6.5%増
	介護保険事業	51億9135万円	3.5%増
	用地	3千円	0.0%
	小計	113億5828万円	2.4%増
合計		334億2928万円	4.0%増

企業会計	収益的収支 事業の管理・運営に関する収支		資本的収支 施設の建設・改良に関する収支	
	収入額	支出額	収入額	支出額
水道事業会計	5億2246万円	4億9416万円	2億190万円	4億9939万円
下水道事業会計	7億2813万円	7億1812万円	5億7257万円	7億1134万円

用地特別会計を除き千円以下を切り捨てて表記していますので合計の金額は一致しません。

◆議会からの指摘事項◆

全体的事項

- 予算執行に当たっては、引き続き最小の経費で最大の効果が得られるよう努力すること

- 税の徴収については、徴収率の向上に努めること

一般会計

【企画】

- 地域公共交通については、予約制乗合タクシー実証運行の検証を十分に行い、市民の利便性向上につながるような新たな交通体系への見直しを早急に行うこと

- 移住定住については、各種施策が広く活用されるよう、効果的な情報発信を行い、更なる定住促進に努めること

- ふるさと納税については、多様な新規返礼品の開拓を図るなど、企業版ふるさと納税も含めて大いに推進し、自主財源の確保に努めること

【福祉・教育】

- 地域こどもの生活支援強化事業については、計画的な予算執行に努めること

- 学校給食事故に対する答申を受け、必要な予算は早急に計上すること

- 中学校の35人学級を始め、学校内で必要とされる専門的な職員の確保に努めること

- 中学校生徒が減少する中、部活動が活性化するよう策を講じる

- 統合中学校の建設にあたっては、進捗状況に合わせ、説明を行うよう努めること



建て替えを待つ瀬高中学校

【環境衛生・農林水産】

- 塵芥処理に関する委託事業は、進捗に合わせ説明を行うこと



バイオマスセンター内の様子

- 有害鳥獣駆除対策については、被害の減少に向けた取組み強化を図ること

【建設・都市計画】

- 水門の電動化に伴う電気料金については、負担の適正化を図ること

- 狭あい道路・通学路等の状況を把握し、その改善に向けて努力すること

- 空き家対策については、更なる取り組みを進めること

特別会計

【介護保険事業】

- 元気な高齢者が増加するよう介護予防教室を始め、予防事業を拡充すること

【水道事業】

- 漏水調査に努めるとともに、老朽化した水道管の更新を計画的に進めること

【下水道事業】

- 下水道施設の点検に努めること

予算審査特別委員会では、以上の指摘事項等が行政施策に反映され、予算が適正に執行されるよう、執行部に要請したうえで、令和7年度「一般会計」「特別会計」および「水道事業会計」「下水道事業会計」の予算7件はいずれも可決すべきものと決しました。

令和7年度「一般会計」予算に対しては、中島委員より修正動議が提出されましたが、賛成少数で否決。原案のとおり可決すべきものと決しました。その可決を受け、附帯決議を付することに決定しました。



一般質問って・・・？
市議会議員が市に対し、市政についての疑問点を質問し答弁を求め、政策的提言等を行うものです。

一般質問

ここが聞きたい！

マスタープラン改定後のま ちづくりは 答弁／実現化できるよう進める



奥蘭由美子 議員



問 みやま市都市計画マスタープランが今回改定された。

令和5年に実施された市民意向調査では、今後のまちづくりについて、買い物物の利便性や就業場所の確保を求める意見が多かった。大牟田都市計画区域（高田西部地区）の土地利用計画は。

答 有明海沿岸道路の高田・黒崎・C周辺は、交通インフラや利便性の良さなどを活かし、産業振興を目的とした企業の誘致を含め、雇用創出の場として事業者の増大につながるよう期待している。

都市計画道路江浦・原線の沿道整備は、有明海沿岸道路の高田・Cまでの区間で計画している。飲食店や小売店、商業施設の立地ができるよう、市街化調整区域における規制緩和なども含め、検討していく。

関連部署とより一層連携を図

りながら、これらの計画を実現化できるよう、今後検討を進める。

問 市街化調整区域の保全と活用は。

答 本市の主要産業の農業を維持していくための優良農地の維持保全や、区域指定や地区計画などを含めた規制緩和などを検討しながら、整備と保全・活性化に努める。



市長のまじゅくりは

答弁／積極的に取り組む



河野一仁 議員



問 令和6年度のふるさと納税

の個人版・企業版、それぞれの寄附額および寄附件数は。

答 個人版は、寄附額約1億1900万円で寄附件数は約5700件。

企業版は、寄附額約150万円で寄附件数は5件となっている。

問 昨年同時期と比べると寄附

額・寄附件数共に大幅に減っているようだが、この状況をどのように捉え、今後の対策は。

答 返礼品を約60品目、ポータルサイトを5社追加したが、価格面などで伸び悩んでいる状況。

新たな取組みとして道の駅みやまに「ふるさと納税自販機」を導入し、さらに返礼品を拡充し、本市の魅力、農産物の質の良さをPRに積極的に取り組む。

での流れは。

答 一般廃棄物の収集運搬業務

については、法令等により収集、運搬、処分等の委託基準等が定められ、これらに基づき行っている。

公正かつ適正な業者決定を期す

ため、業者に受託資格審査申請の提出を求め、市の受託業者選考委員会により、資格審査および受託業者の選考を行っている。この委員会を通過した業者と、各ごみ収集運搬業務ごとに、市の予定価格内で随意契約を締結している。



ふるさと納税返礼品

問 ワンヘルス政策に伴う企業

誘致の現状は。

答 ワンヘルスセンター建設予

定地周辺を中心とし、関連産業の積極的な立地誘導を推進する。

問 民間開発力を活用した企

業誘致の引き合いはあるのか。

答 問い合わせ等はあるが、現在のところ引き合いはない。

問 ワンヘルスに関する企業誘

致について、方針が変わっているような感じがあるが。

答 方針が変わりはない。

問 ふるさと納税の実績は施政

方針や予算に及ばないものだが。

答 苦戦を強いられているが、新たな取組にも挑戦しながら全力で取り組んでいく。

施政方針に沿った事業が行われているか 答弁／提言を踏まえしっかりとやっていく



三小田智裕 議員



答 全行政区での設立を促進

し、研修や訓練等の支援を行っていく。

問 防災士の育成と支援について

答 防災士連絡協議会の活動を支援しながら、各行政区に1

名以上の登録防災士を要請する。

問 消防団の条例定数について

どう考えるか。

答 組織再編計画を見直し、意見交換を行いながら時代に即した持続可能な消防団運営となるよう検討する。



造成完了した産業団地

問 自主防災組織への支援体制は。

地域おこし協力隊の積極的導入を

答弁／雇用形態の選択肢を増やす



中尾眞智子 議員



問 地域おこし協力隊とは、

都市部から過疎化の進む地域に移住し、地域活性化のための活動を行ってもらい、地域への定住・定着を図る制度だ。

市の地域課題解決に向けては雇用形態の選択肢を増やし、多くの協力隊員を積極的に受入れるべきでは。

答 現在は会計年度任用のみだが、業務委託契約もできる要綱に改正し、幅広い協力隊員を活用した地域活性化に取り組む。

問 任期終了後の定住・定着率が他市よりかなり低い。その対策は。

答 支援体制の充実や先進地の良い事例を取入れたい。令和7年度より、お試し地域おこし協力隊やインターン制度を予定している。

ふるさとミライカレッジ事業への申請を

問 この事業は大学と地域が連携し、大学生を招いて地域課題の調査、移住定住体験などを行うことと「交流人口」「関係人口」が増加し、「移住・定住」にも繋がる。

令和6年度の早急な申請を。

答 事業活用は市の魅力向上や地域課題の解決、新事業提案など大いに期待できる。具体的な事業計画の申請があれば、若者の力を活用できるようにしっかり検討する。



協力隊が主催する夏のお泊りツアー

若者が戻ってくるためには

答弁／郷土愛を育む教育を充実する



吉原政宏 議員



問 本市に生まれ育った子ども

たちが、一旦は進学や就職で地元を離れても、いずれ戻ってきたいと思う「郷土愛」を育む教育は持続可能な定住に繋がると考えるが、本市の小中学校の取組みは。

答 「みやまに学び、みやまを愛し、みやまに生きる人づくり」を基本に、「みやまの宝発見」や「ふるさと学びマップ」等で、自然や偉人、文化伝統、特産物等の本市の誇りを教え、郷土愛を育んでいる。

問 堀池園団地跡の住宅地開発状況と、移住希望者への情報提供となる空き家バンクの登録状況は。

答 団地跡は宅地分譲地として公募を行ったが不調であった。価格や条件を見直し、再度売払いを検討する。現在の空き家バンクで建物登録は9件。令和5年の調査で市内の空き家は1055戸、そ

のうち良好な建物は299戸。物件登録増加に向け周知に努める。

問 空き家の活用を含めた、移住定住に関するワンストップ相談窓口や、移住コーディネートターの設置など、受入れ体制の充実が必要ではないか。

答 移住希望者に対し、より良い相談体制の構築に全力で取り組む。



郷土愛を育む「みやまの宝発見」と「ふるさと学びマップ」

市長はどう対応されたのか

答弁／家族の皆様とお話ができなかった



中島一博 議員



問 市長は、令和6年第1回

定例会で、学校は児童が安全・安心で過ごせる場であらねばならない。尊い命が失われたことは市の責任であると認めた。今後再発防止に努めると説明しているが、市長はどう対応されたのか。

答 教育委員会と連携し、対応

してきたが、ご弔問やお通夜に参列した後は、ご家族の皆様とお話をする事ができなかった。

問 孫のことを聞きたいと願っ

た祖父に、校長は「警察に接触はしないように言われている」と答えている。おかしいと思い警察に電話したところ、「その様なことを警察が言う意味がない」と言われ、そこで再度校長に聞いたと、前回は「接触禁止は教育委員会から言われた」と、前回とは違った答えが返ってきているが、本当のことか。

答 教育委員会の内部会議の時

に、遺族とは単独では接触しないように話し合いをした。

問 令和7年2月10日臨時全員

協議会で、答申を受けた取組について報告を受けたが、市長、教育長はどのように対応するのか。

答 ご家族への支援などの提言

の実現に向け、スピード感を持って実行していく。保護者の皆様へも、学校と連携し、ご理解いただくよう真摯に向き合い、誠実に対応していく。



再発防止に取り組む学校

食料品アクセス困難者対策を

答弁／調査研究して進める



黒田清隆 議員



問 食料品の購入に不便、苦勞

を感じる「食料品アクセス困難者」問題は、高齢者、障がいを持つ人、低所得者にとって深刻である。買い物不便により孤食・外部化傾向になり、健康・自立度に影響する。「買い物バスツアー」事業の継続をこの地域の方々は望んでいる。買い物支援の継続が必要では。

答 継続が可能かどうかについ

ては総合的に判断する。

答 総合的に検討して公共交

通会議、デマンド交通導入と合わせて課題解決できるようにしていきたい。買い物支援の取り組みが、食料品アクセス困難者の解決、高齢者の地域福祉活動のために、柔軟で住民主体の活動となるよう、地域の実情を十分調査・研究して進める。

問 市内のほかの地域にも食料

品アクセス困難者の方は多いと思う。問題解決として、この買い物バスツアーモデルを市内のほかの地域にも運行できないか。または、くすつぷー号を買い物バスツアーに使えないか。車・保険・燃料代は市の負担、運営は地域が運営する筑後市、大牟田市方式。ほかに、軽トラ市を地域で開くなどの方法があるが。



買い物バスツアー

補助金による有害鳥獣駆除を

答弁／研究が必要



古賀義教 議員



問 イノシシによる農作物被害

が増大する中で、市街地の多くの場所で見撃され、農作物被害だけでなく、市民を危険から守ることも争点になっている。

人間の生活圏が犯されつつある中で、何か新しい対策が必要ではないか。

答 新たな取り組みには至っていない。

問 ワンヘルスの理念とは、人

間社会と野生動物の共存共栄社会の構築だが、有害鳥獣駆除は増え過ぎたイノシシの適切な管理（駆除）である。やはり人間や農作物に被害を及ぼす害獣は駆除が必要だ。

国の認定を受けた鳥獣管理士や鳥獣保護管理捕獲コーディネーターは、人と動物の住み分けや鳥獣の適切な頭数の管理（駆除）が職務である。

つまり、有害鳥獣駆除の取り組みの中で、環境と人と動物のより良い関係づくりも同時に進める事が可能である。

市長が取り組まれているワンヘルスの理念とも合致する鳥獣管理士や鳥獣保護管理捕獲コーディネーターによる有害鳥獣駆除を実施できないか。

答 全国で例が無いため研究する。

問 私が数年前から提案している鳥獣害対策は全額が国の補助金である。実施できない理由は何か。

答 今後、研究が必要。



イノシシにより被害を受けたみかん

農事組合法人に不安はないか

答弁／関係機関と連携し取組を進める



森弘子 議員



問 農事組合法人中に高齢化

が進み、オペレーターが不足しているのを知っているか。

答 知っている。法人間のオペレーターの協力の話し合いが始まっている。

問 本市の基幹産業である農業について、どう進めるか。

答 少子高齢化等による担い手不足や、オペレーター不足等の人的支援の必要性や、機械等の高騰による農業経営のひっ迫等の課題がある。

これらの課題解決を図るため、本年1月、JAみなみ筑後の呼びかけにより、「みやま・大牟田地域農業労働力支援協議会」が設立された。

市としては、当協議会を有効活用し、本市の農業振興が図れるよう、関係機関と連携し取組を進める。

みやまつくす MIYAMAXの使用中止に伴う感謝料について

問 多額の税金を使って作られた総合市民センターだが、3度の工事不良で「雨漏り御殿」とまで揶揄されている。感謝料の請求をしてもよかったのではないかという意見が出ているが、請求しなかったのはなぜか。

答 感謝料というのは、精神的損害に対する賠償であるため、自治体が請求するのは困難。そこで、より安全で、強固な補強工事を求めるとともに、市として費用面での実害がないよう、損害額を確定した。



法人所有のコンバイン

文教厚生常任委員会

〔定例会報告〕

3月11日に委員会および予算審査分科会を開催しました。

委員会では、付託された議案2件について審査しました。

議案「みやま市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について」は、瀬高中学校と東山中学校の2中学校を統合し、新設校として「みやま中学校」の設置に伴い、現在の2校を閉校します。新たな学校の位置は、現在の瀬高中学校の住所「瀬高町下庄1885番地」とするものです。

議案「みやま市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準」が改正され、家庭的保育事業等を利用する乳幼児に対する食事提供の特例の要件として、栄養士の配置等から栄養士免許を有しない管

理栄養士を該当規定に追加するものです。

慎重審査の結果、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

また予算審査分科会では、令和7年度一般会計ほか3特別会計予算について所管の質疑と指摘事項の取りまとめを行いました。



産業建設常任委員会

〔定例会報告〕

3月12日、14日に委員会および予算審査分科会を開催しました。

委員会では、付託された議案10件等について審査しました。

議案「みやま市宿泊施設の誘致に関する条例の一部を改正する条例の制定について」は、宿泊施設の設置事業者に対する奨励措置の拡充等を行い、指定区域内における宿泊施設の誘致を促進するため、所要の改正を行うものです。現行の指定区域に「沿道型商業地」を追加し、宿泊施設の誘致を促進する区域を拡張するほか、現行の固定資産税5年間の課税免除に加えて、6年目から10年目までの間を、税率2分の1の不均一課税とするなど、奨励措置の見直しがなされています。

その他「みやま市道路線の認定について」などのいずれの議案も、慎重審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決しました。

また予算審査分科会では、令和7年度一般会計、水道事業会計、下水道事業会計の予算について所管の質疑を行い、審査しました。特に、塵芥処理に関する委託業務では、大幅な予算の増加も見受けられ、今後の予算計上について、議会の意見が反映できよう、附帯決議を付すことを決定しました。



総務常任委員会

〔定例会報告〕

3月13日に委員会および予算審査分科会を開催しました。委員会では付託された議案7件について審査しました。

主なものとして、議案「行政機構の見直しに伴う関係条例の整理に関する条例の制定について」は、現在総務部では、経営管理部門から企画部門まで幅広い範囲の業務を担っており、より効率的・戦略的に業務を遂行するため、総務部から企画部門を切り離し、新たに企画部を創設するものです。

また、総務部に行政区・自治会のあり方の検討や頻発する自然災害への対処など市民への安心安全への取組を強化するため、地域・防災課を新設するものです。



慎重審査の結果、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

予算審査分科会では、令和7年度一般会計予算、国民健康保険事業特別会計予算について所管の審査を行いました。

〔行政視察報告〕

1月30日から31日まで視察研修を行いました。

●山口県萩市

「萩まちじゅう博物館」

萩市では、文化財や自然景観などを「おたから」として保存・展示し、まち全体が屋根のない広い博物館と見なす「萩まちじゅう博物館」に市民協働で取組まれています。みやま市にも多くの歴史的遺産や物語があります。これらを点から線へと結びつけ、さらに線から面へと展開し、市内及び市外の方に効果的に情報発信していく必要があると感じました。



●山口県長門市

「移住定住促進」

長門市では、空き家活用担当の定住支援員2名と、移住者支援担当の移住コーディネーター2名の計4名が連携し、移住定住を手厚くサポートしています。その結果、令和5年度の移住相談件数は988件、令和6年度は前年比2倍の相談件数があり、移住者が年々増加中です。本市でも、定住施策を効果的に情報発信し、興味や関心を持ち魅力を感じてくれた方々に本気で移住を力強く後押しできる人材の起用が必要だと感じました。



議会報編集特別委員会

〔行政視察報告〕

「みやま㊦ギカイ」を手につけてもらえ、読んでいただける議会だよりを目指し、2月6日から7日まで視察研修を行いました。

●長崎県南島原市議会

全般的に文字が大きく、一般質問においては小見出しを付けたり、質問を太文字にするなどしたり、「みんなに親しまれ、わかりやすい広報紙へ」の工夫が見受けられました。



●佐賀県嬉野市議会

議員を2班に分け、2年毎に議会広報編集特別委員会の総入れ替えを行うことで、題字や紙面のレイアウトが変わり、新鮮な議会だよりになると感じました。



一般質問の文字数は、みやま市の440字に対し、両市議会とも700字を超える文字数であり、2問の質問の場合、特に質問の趣旨が市民に伝わっており、検討の余地があると感じました。

両市議会ともに創意工夫がなされ、マンネリ化に気を付けた「みやま㊦ギカイ」の発行を目指します。

タブレット活用特別委員会

〔行政視察報告〕

1月27日、視察研修を行いました。

●福岡県嘉麻市

嘉麻市議会では平成26年にタブレット端末を導入。翌年から紙資料との併用を取りやめ、完全ペーパーレス化に取り組み、印刷費等の大幅な経費削減を実現しています。

また、システム更新の度、タブレット端末を順次購入し、約100台所有。議会と市執行部とで資料情報など共有し、円滑な議会運営を図られていました。今回の視察を参考に、更なるペーパーレス化、システムの活用および研修を含めた啓発に努め、議会運営の効率化を進めていきます。



有明生活環境施設組合議会

2月14日、令和7年第1回定例会を開催しました。

提出された議案は3議案で、福岡県市町村退職手当組合規約の変更、補正予算、新年度予算の3件です。

まず、福岡県市町村退職手当組合の規約の変更です。

本年3月31日をもって下田川清掃施設組合が解散することに伴い、加入団体数を減ずる改正です。

次に、令和6年度の一般会計補正予算です。

銀行の預金利率の上昇によって生じた預金利息分を、基金積立金とする補正です。

3つ目の議案は新年度予算です。

令和7年度有明生活環境施設組合一般会計予算の総額は、8億3千795万7千円です。

内訳は、「有峰苑みやま柳川」の火葬施設管理費が8千191万8千円、「有明ひまわりセンター」施設管理経費が6億9千115万9千円となっております。

いずれも慎重審議の結果、原案どおり可決しました。

▼有峰苑みやま柳川の待合ロビー



▲有明ひまわりセンターのプラットホーム

柳川みやま土木組合議会

2月20日、令和7年第1回定例会を開催し、3議案が上程されました。

令和6年度一般会計補正予算は、歳入歳出にそれぞれ844万8千円を減額し、歳入歳出予算総額が3億5168万2千円となりました。

次に、令和7年度一般会計予算は、歳入歳出それぞれ4億1430万円となり、前年度と比較すると6980万円の増額です。増額の主な要因は、工事請負費の増によるものです。

令和7年度における、みやま市の一般分担金は、5399万2千円で、特別負担金は1418万2千円です。

次に、福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び福岡県市町村職員退職手当組合規約の変更については、地方自治法第290条の規定により議会の議決を求めるものです。

いずれも慎重な審議の結果、原案のとおり可決しました。

○みやま市内の工事予定

・補助事業

瀬高町下庄地区での水路整備工事

瀬高町大江、河内地区の樋門整備工事

・一般工事

瀬高町下庄地区の水路整備工事

瀬高町大草地区の返済川筋の浚渫工事

瀬高町本郷地区の岩神水門の遠隔操作改良工事

【視察】

1月30日・31日、独立行政法人水資源機構および小石原ダムを視察し、筑後川水系の導線について研修しました。



小石原ダムでの視察の様子

表紙のひと

今回取材したのは、昨年11月に清水山荘内にオープンした「山荘かふえ cache cache」の松永綾子さん。

32年間看護師をされていた松永さんは、かねてからカフェを経営したいと思っていたそうで、以前、清水山荘内で食堂をされていた方とのご縁で、カフェを開くことに。

「cache cache」とは、フランス語で「かくれんぼ」のこと。隠れ家のような場所をつくりたいとの思いで、この店名にされたそうです。

「主婦の料理ですから」とおっしゃる松永さんですが、カラダに優しいスープと地元のお野菜などを使ったメイン料理はもちろん、店内で焼き上げる外側はパリッと中はもっちりとした米粉パンのランチメニューは絶品。お米を使ったスイーツなどのカフェメニューや、清水山散策の方にお弁当も用意されています。

SNSで料理写真、
情報など随時発信中！



@OYAMANOCAFE.CACHE.CACHE

山荘かふえcache cache(カシュカシュ)

まつなが あやこ
松永 綾子 さん



3月に期間限定
で販売したお花
見弁当→



また、清水山荘に宿泊される方向けの朝食や夕食も提供。看護師としての知識を生かして、アレレギーだけでなく、お子様や高齢者向けのメニューなども対応可能ですが、「基本一人で料理を提供していますので、できればご予約いただければ」とのこと。

清水山の四季折々の美しい自然と、美味しい料理で、心もカラダも癒されてみませんか。

筑後六市議会 議員研修会に参加

令和7年2月4日、筑後六市議会（大牟田市・柳川市・大川市・みやま市・筑後市・八女市）議員研修会に参加しました。

今年の開催市は八女市。演題は「選挙とハラスメント」市民の政治参加促進の観点からの考察」で、講師は、八女市長の養原悠太郎氏でした。

「世の中では、様々なハラスメントが存在し、増えている。今まで疑問を感じずに使っていた言葉や行動が、ハラスメントになることもある。またハラスメントは人に対するいやがらせやいじめを指し、相手を不快にさせたり、傷つけたり、不利益を与えたりする行為で、若者の政治離れも起きている。

ハラスメントをしない・させないためには、それぞれがハラスメントを理解し、何が必要なのかを考え、行動する必要がある。また、政治家自身が意識改革に取り組むことが最も重要だ」と、市長自らの経験をもとに講演していただきました。



聞かせて! あなたの夢



南小学校 6年

かき はら たい せい
柿原 泰惺さん

将来の夢

ぼくの将来の夢は、大工になることです。ぼくの今住んでいる自宅のように、多くの人に長く住んでもらえる建物をつくりたいからです。

一人一人快適と感じる家は違うと思います。だから、今からしっかりと勉強をしたり、体力をつけたりしてお客様のニーズに応えられる努力を積み重ねていきたいと思ひます。

「柿原泰惺の建てた家に住みたい」と思ってもらえるように、自分の将来の仕事の段取りを今から組んでいきます。そして、「みやま市には、良い家をつくる大工がいる」と多くの人をみやま市によべる一員となり、みやま市の発てんにこうけんしたいです。



みやま市マスコットキャラクター
くっぴー

編集委員

委員長 古賀 義教
副委員長 奥園由美子
委員 諸富 正也
委員 三小田智裕
委員 河野 一仁
委員 中尾眞智子

《次回定例会》

6月17日(火)

からの予定です。

インターネットで
中継・録画を配信

市ホームページ「み
やま市議会」のイ
ンターネット中継」か
らご覧ください。



編集後記

新緑眩しく風薫る季節となりました。

みやま市も新予算での市政がスタートし、市議会も気持ち新たに令和7年度を迎えております。

これまで各地で山林火災が発生し、大きな被害があり、またミャンマーでは大規模な地震により多くの尊い生命が失われました。

私達の周りでも災害がいつ発生するか予測できません。常に危機意識をもって、万一の事態に備えておきましょう。

皆さんは非常用持ち出し袋をお持ちですか？

飲料水、食料品や衛生用品等、いざという時持ち出しできる必需品を用意しておけば、慌てずに済みます。

意外と忘れがちなのが「歯磨きセット」。避難所で歯磨きができないと感染症のリスクが高まりますので是非準備しておきましょう。

旅行かばんを用意する気分で気軽に楽しく、でも真剣に非常用持ち出し袋を準備してみませんか。

編集委員 三小田 智裕

みやま市ホームページアドレス <https://www.city.miyama.lg.jp/>